

史跡下寺尾官衙遺跡群・下寺尾西方遺跡保存活用計画について

1 各年度の目標と策定スケジュール

(1) 目標（成果物）と部会での主な審議事項

ア 令和7年度：骨子作成（概ねⅠ・Ⅱ部まで）

第2回（10/4）：策定の進め方、構成（目次）内容、策定にあたっての参考視点・方法、参考事例（Ⅲ部2章関連）

第3回（今回）：Ⅲ部検討

第4回（3/25 予定）：Ⅰ～Ⅴ部（文化庁）

イ 令和8年度：計画書刊行（パブコメ、庁議含む）

【上半期】

- ・部会の開催（全体素案まで検討）
- ・庁内調整
- ・文化庁指導助言

【下半期】

- ・部会の開催（パブコメ後の全体案を確認）
- ・地元説明会、庁議、パブコメ
- ・文化庁指導助言

2 経過及び進捗状況

(1) 経過

第2回部会で、策定の進め方、構成（目次）内容、重なる史跡の参考視点・方法、参考事例（整備関連）についてお示し、個別の内容の審議については次回以降とした。

(2) 進捗

- ・Ⅰ、Ⅱ部については、コンサルに依頼し、まとめている
- ・Ⅲ部以降については、事務局で案を検討中
- ・作成の過程で内容の整理を行い、Ⅲ部以降の構成（目次案）に変更が生じた
- ・現在、変更後の構成に基づき、Ⅲ部「重なる史跡に対する保存活用の基本的な考え方」を整理
- ・Ⅳ部「下寺尾遺跡群の保存活用」についてはⅢ部を踏まえ再構成中
- ・Ⅴ部「下寺尾遺跡群の整備構想」は具体的な整備の内容を整理中である。

3 検討内容

(1) 前回お示しした構成（目次）の変更（資料3-2：構成（目次）案）

- ・西方検討報告で附編とした「重なる史跡に対する保存活用の基本的考え方」の内容

をⅢ部

- ・「下寺尾遺跡群の保存活用」をⅣ部
- ・「下寺尾遺跡群の整備構想」をⅤ部

(2) Ⅲ部の検討（資料3-3）

- ・西方検討報告の附編「重なる史跡に対する保存活用の基本的考え方」を再構成
- ・具体的には附編1・3章の内容を踏まえ、重なる史跡の特徴、可能性、課題、基本的な考え方に整理

(3) Ⅳ・Ⅴ部の考え方

- ・各史跡の計画を並列しただけでは、保存活用の整合性が図れないことを確認した
- ・当初「重なる史跡」の考え方（特徴、複合遺跡・遺跡群の理解、地域史へのつながりなど）をⅢ部、重なる史跡としての整合性に特化した保存活用にⅣ部とし、重ならない部分は、各史跡の保存活用計画（Ⅱ部）を参照するという流れを検討
- ・しかし、単一の史跡として保存活用を行う場合でも、Ⅲ部に記載する重なる史跡の考え方や地域史の理解が不要なわけではない（むしろ必要な観点）
- ・したがって、2つの史跡を対象とする保存活用計画は、各史跡の保存活用とともに、重なる史跡の保存活用、さらにそれらを含めた下寺尾遺跡群としての保存活用（Ⅳ・Ⅴ部）が必要になるのではないか。
- ・Ⅳ・Ⅴ部については「下寺尾遺跡群」を踏まえた内容としたい

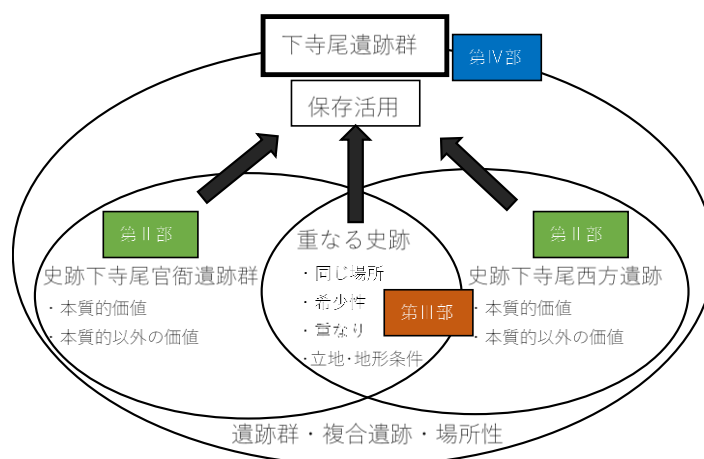


図1 史跡・重なる史跡・下寺尾遺跡群の関係

(4) 整備の考え方（資料3-4）

- ・現地整備の方向性について、重なる史跡の整備の方向性を4つ検討
- ・西方単独整備、官衙単独整備、重層整備①（ゾーニング）、重層整備②（混在）
- ・事務局としては、重層整備②（混在）